

“賑わう図書館”海南 nobinos に新型「読書通帳機」が登場

和歌山県内初。読書履歴を通帳に貯めることで、ますます子どもが行きたくなる図書館に。

海南 nobinos（和歌山県海南市、2020年6月1日開館）は、読書週間の始まる10月27日（火）より、和歌山県内の公共図書館では初めて読書通帳機を導入します。読書通帳機は、株式会社内田洋行が発売する、図書館システムと連携して貸出データを通帳に印字するシステムで、現在まで52自治体99館（10月19日現在）の公共図書館・学校図書館で運用されています。この度、通帳のページ送りが可能となり、小型化された新機種が、全国で初めて海南 nobinos に導入されます。読書通帳をきっかけとして、またひとつ、子どもが本に親しむ機会を創り出し、本を通じて自分の世界を広げて欲しいと願っています。

開館から4カ月余りで来館者数 25 万人

海南 nobinos は、10月10日に来館者数25万人を数え、日本一（※(株)図書館総合研究所調べ）となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、漫画などを揃える図書館と、座席が稼働する最大254席のホールのほか、多目的室や会議室、音楽練習室などの貸館機能、有料の託児室や乳幼児向けの遊び場などを備えた複合施設です。館内にはスターバックスも出店し、静かに本を読む場所という従来の図書館のイメージとは異なり、子ども連れでも気兼ねなく遊びに来られる場所として市内外より多くの来館があります。



海南 nobinos 2階絵本ゾーン

子どもの感性、好奇心を刺激し、読書意欲の促進を

県内初の託児施設を併設した図書館には子どもがぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架を採用し、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読む読書の森、日本や海南市の伝統色を用いたサイン、鳥やアリの巣をモチーフにした遊具など、本に触れ、好奇心を高める工夫を随所にしています。

遊びに来たついでに本を手取る、図書に触れる機会の創出をコンセプトとした海南 nobinos では、読書通帳機の導入により、子どもの更なる読書意欲の促進を目指します。



カウンターに組み込まれた読書通帳機と通帳（※画面は開発中のもの）

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南 nobinos 指定管理者 TRC 海南
〒642-0002 和歌山県海南市日方 1525-6
TEL : 073-483-8739 FAX : 073-483-8738
E-mail: trc.kainan@trc-sp.jp
HP <https://kainan-nobinos.jp/>

海南市教育委員会生涯学習課
〒649-0121 和歌山県海南市下津町丸田 217-1
TEL : 073-492-0143 FAX : 073-492-3390

参考

■「海南 nobinos」施設概要

名称：海南 nobinos（カイン ノビノス）

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味

所在地：和歌山県海南市日方 1525 番地 6

Access：JR 海南駅より徒歩 7 分

概要：敷地面積 9,868.72 m²

延床面積 7,850.23 m²

開館時間：9:00～21:30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC 海南



海南 nobinos 外観

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 細川博史）

構成団体：株式会社明日香（本社：神奈川県横浜市 代表取締役 萩野吉裕）

大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通 2 丁目 代表取締役社長 村田弘至）

■施設内容

①図書館機能

最大蔵書冊数約 15 万冊（絵本 5 万、児童書 3 万、一般書 7 万）

※2020 年 9 月 30 日時点の蔵書数は 12 万 9,221 冊

②市民活動・生涯学習活動支援機能

ホール（最大 254 席、約 411 m²）、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1

③子育て支援機能

和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室

乳幼児用の遊び場、授乳室、子どもトイレ、屋外広場に隣接する保護者待機室など

④スターバックス コーヒー 海南 nobinos 店

⑤広場

■読書通帳機

販売：株式会社内田洋行（本社：東京都中央区）

概要：図書館システムと連動し、専用の通帳に貸出中の図書のタイトル・著者名を印字。販売開始は 2010 年で、和歌山県内の図書館への導入は初めて。海南 nobinos へは、2020 年に開発された新機種を全国で初めて導入。貸出データを印刷する通帳は、海南市図書館オリジナルデザインで、市内在住・在学の中学生以下は無料、それ以外の方へは一冊 300 円で販売。通帳だけでなく、タッチパネルの画面も海南市オリジナルのものを開発中。（読書通帳機は、海南市下津図書館（海南市下津町下津 500-1）にも導入されます。通帳は両館共通。）※「読書通帳」は株式会社内田洋行の登録商標です。

■読書週間

読書週間とは、10月27日から11月9日までの2週間にわたり、読書を推進する行事が集中して行われる期間。公益社団法人読書推進運動協議会が主催。